

檀徒皆さまのご協力の賜物

山主

田中 大國

「善光寺海外留学生僧派遺育英会」設立以来満四年を観しました。この間、仏天のご加護による派遣事業は順調に進展し、昭和六十年を第一期として、同期通算十二名の方々を派遣しておつまむ。さうわいにして、この事業は、より国際舞台に進出する機会を与えられる」となり、田舎へ日、釈尊成道の佳き日、パリー、第一大学で開かれた日本セミナーにおいて、「新しい教化路線を求めて——十五年の軌跡とその成果——」と題して、一時間半、文字通り熱弁をふるつてしまひました。そしてその草稿のほぼ全文が「中外日報」に掲載され、その後上智大学の安藤教授が「理想實現の実例に学ぶ」と題して回誌に讃辞を

寄せて下されました。この一事を以つてしてや、即ちの運営は大変な評価を受けてくるのであつて、これがどうに檀徒各位の理解ある協力の賜物であつて、感謝いたえなつといふのであります。この点につれ私が、「」の難行を実行するにあたり、私は檀家の方々に、心からおわがりしお願いをいたしました。『』飯を一食毎に一口だけ減らして貰うださう。それで仏法をひろめたい……と。私は“法輪轉かねといふ、食輪血の轉せざらね”「」を確信しておつまむ。これが仏天の御加護なりば、おやじく援助して貰ださる檀徒の方々は多くおつまむ。

「檀家を敬う」と云ふとくわべし

ところで、當山禅師の教えを、ひたから実践かね」と云ふが、現在の善光寺を形づくり、海外留学僧派遣といつて一大事業を可能ならしめたと思つます

と述べた時檀家の方々の逆行を讃嘆する拍手が沸き上りました。

法句經

巻頭言

黒田 武志

■衿羯羅・制咤迦二童子

■第二回日仏セミナーで発表

カラ一詩

■二童子開眼法要

特別寄稿 ■日仏セミナー「仏教とアジア社会」に参加して

奈良 康明

■日仏セミナー「新しい教化路線を求めて」

黒田武志(大圓)

■日仏セミナー「仏教とアジア社会」会議報告

坪井 善明

法話 ■お不動さまの話

佐藤 俊明

講演 ■仏との出逢い

錦戸 新觀

エッセイ ■禪と衣食住(四)

お斎

東 隆真

留学記 ■プーラで出会った人たち

阿部 慈園

日本入のインド理解の育点
視野を広める海外生活

保坂 俊司 島崎 義孝

善光寺たより

読者からの便り

PREFACE

題字・グラビア・さし絵

グラビア撮影

カツト

古刷仏集より

五十嵐千彦

伊藤三喜庵

104 99 98 92 86 82 74 68 52 46 24 18 14 12 6 2 4